



地域とともに歩み、  
地域の未来を拓く学校

湖南省立石部小学校  
校報 第142号

令和3年(2021年)4月15日

文責：校長 法山 由紀子

学校教育目標 「やる気いっぱい! やさしさいっぱい! ゆめいっぱい!」  
～ 「ふるさと石部」から「えがお」発信～

「地域とともに歩み 地域の未来を拓く学校」を標榜する石部小学校は、開校147年目を迎えました。8日の入学式では55名の新一年生を迎え、全校児童393名で令和3年度をスタートしました。

今年度も上記の学校教育目標を掲げ、子どもたちの笑顔の発信基地となれる学校を目指し、「チーム石部」スタッフ一同、精一杯力を尽くしてまいります。ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新年度のスタートにあたり最高学年6年生の姿が光っています。3月の卒業式、4月の入学式の準備や後片付けでは、意欲的に仕事を見つげながら働く姿がありました。また、全校の代表として式に臨む姿も大変立派でした。6年生は学校づくりのスタッフです。その頼もしい姿に心強くなりました。

さあ、出発です!!

令和3年度 湖南省立石部小学校 学校経営方針

「地域とともに歩み、地域の未来を拓く石部小学校」

【学校教育目標】

やる気いっぱい! やさしさいっぱい! ゆめいっぱい!  
～ 「ふるさと石部」から「えがお」発信～

【めざす児童像】

「自ら学ぶ子(知)」 「心の豊かな子(徳)」 「たくましい子(体)」

【めざす教師像】

「子どもを受容し、子どもの可能性を伸ばす教師」  
「チームの一員としての自覚を持ち、人とつながる教師」  
「自分を磨き、学び続ける教師」



【いしべ教育ミッション3】

1. 「いしべっ子」一人ひとりの力を引きだし、仲間とつないで、自尊感情を高める。
2. 「チームいしべ」であることを自覚し、全教職員が「ONE TEAM」で「いしべっ子」を豊かに育む。
3. 「ふるさといしべ」の今と未来をつなぐ役割を、家庭・地域と協働しながら果たす。

【児童行動目標】

わたしが「えがお」になるために、だれかを「えがお」にするために

お・大きな声でわたしから「あいさつ」  
ま・まずじっくりと聞こう  
か・感謝の気持ちを伝えよう  
せ・せっせとそうじ だまってそうじ

い・いつもチャレンジ(詩の暗唱)  
し・静かに歩く 廊下歩行  
べっ・勉強毎日、家庭でも  
こ・言葉づかいはていねいに

本年度教育実践の重点

「いしべっ子」一人ひとりの力を引き出し、仲間とつないで「自尊感情」を高める

学力保障	仲間づくり	ふるさと意識
<p>★「楽しくて力のつく授業」の創造が使命!子ども一人ひとりの「学ぶ力」向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しくてわかる授業の実践(達成目標…児童肯定的評価90%以上)</li> <li>・「石部スタイル」質的向上</li> <li>・校内研究の推進</li> <li>・GiGAスクール構想のもとタブレット端末の有効活用で教科の新たな学びを探る</li> <li>・学校図書館の活用</li> <li>・家庭学習の充実</li> </ul>	<p>★一人ひとりが主役!一人ひとりが大切にされる学級・学校づくりを。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級や学校を自分たちの力でよりよくなるための自主的・実践的な取組</li> <li>・いじめを見逃さない人権感覚</li> <li>・個々の小さな努力や成長を認め評価</li> <li>・インクルーシブ教育の充実</li> <li>・考え、話し合う道徳の授業</li> </ul>	<p>★コミュニティ・スクール7年目!「いしべっ子」の強み弱みを共有しながら、地域と学校が向かうべきベクトルをそろえて一歩ずつ前へ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を挙げて「あいさつ」奨励</li> <li>・学校運営協議会との連携</li> <li>・石部学遠足や体験的活動の工夫</li> <li>・企業連携と環境教育の推進</li> <li>・地域と協働して行う「安心・安全」の取組</li> <li>・芝生のグラウンドの活用</li> </ul>

どうして??

谷川 俊太郎

あしのうら くすぐると  
ないても わらっちゃう  
どうして?

1と2をたすと 3  
すきとおる まどがらす  
どうして?

かぜふくと きがゆれる  
いまぼくは ここにいる  
どうして?

どうしても どうしてと  
なんども ききたいな  
どうして?

出典 「いちねんせい」

著者 谷川 俊太郎

画家 和田 誠

大日本印刷株式会社

1988 48P

入学式の式辞の中で、この詩を読みました。

「どうして?」をいっぱい見つけること、「どうして」なのかうーんと考えること、「どうして」を「なるほど」に変えること、これがみなさんにしてほしい勉強です。